

# おかあさんに学び、東北復興を応援しよう!



## 福島県河沼郡会津坂下町

会津盆地西部に位置する会津坂下町(あいずばんげまち)。グリーンツーリズムで7軒の農家に“農泊”できる。東日本大震災では3月15日より福島第一原発近くの南相馬市、浪江町、大熊町、双葉町などから500人以上の被災者を町内3箇所の施設を避難所として受け入れ、また町内施設が新潟ルートで被災地に送る物資の仕分け拠点にもなった。福島第一原発からの距離は100km以上。空中線量は役場前で0.11μSv/hと低い。風評被害が甚大。



おかあさんの宿 7 福島県河沼郡会津坂下町

藤川 智子さん

そばの里

### 津波被災地からのSOSに、お米と野菜を届けに行った。

会津坂下には県内の津波被災地や避難区域などから多くの方が避難して来られ、うちにも二本松市から娘夫婦の家族6人が来ました。会津地方は地震の被害は少なかったものの、お店の棚から食料や水が全てなくなり、ガソリンや灯油も買えず大変でした。沿岸部の新地町の友人に連絡をとったら

『津波で流されて食べるものがない』と苦しんでいました。そこで4月の初め、うちで備蓄のお米を500kgほどと、野菜農家や直売所などを回って野菜、納豆、肉などを買い、軽トラックに積んで息子と届けに行きました。地域の方々に大変に喜ばれ、また被災地の凄惨な状況に心が痛みました。



### 安全で、おいしい。会津のお米を食べにきてほしい。

藤川家は稲を20ヘクタールとそばを15ヘクタール耕作している専業農家です。平成17年11月よりグリーンツーリズムの考え方に興味を持ち、農家民宿「そばの里」を始めて5年が過ぎました。会津盆地は昼と夜の寒暖差が大きく、土も肥沃で水もよく、とても美味しい農産物ができます。私たちが育てるコシヒカリもどの産地よりも美味しい自信があります。一度宿泊されたお客様で、その後お米を取り寄せられる方がとても多いです。

会津地方も当初は汚染が心配されましたが、放射性物質はほとんど飛んでこなかったため空中線量も低いです。農作物はJAでも検査していますし、私たち生産者も自主的に検査に出していますが、すべてND(Not Detected:不検出)です。でもそれでも福島県産というイメージで買ってもらえず、農協は大量の在庫を抱えています。会津の農産物は安心で、おいしい。ぜひ一度、そのことを確かめに会津にいらしてください。



会津そばを、是非お召し上がりください!!

### 会津そばを打って食べて満足!「そばの里」

会津藩城下町の会津若松、会津磐梯山、猪苗代湖、裏磐梯の桧原湖や五色、秋の紅葉は絶景。四季折々に豊かな自然に触れられ、のんびり過ごすには最沼をはじめ南東北随一の観光スポットが集まる会津地方。そのなかで会津坂下町は自然と農と人の営みが調和する田舎町。冬は1mを越える積雪もあり、春には七草や山菜が取れ、夏は涼しく、

